

なるほどのう



学校教育担当  
キャラクター  
甲斐善之助

# 西部教育局からのお役立ち情報

## 今月のトピック紹介版

7月号



「主体的に学習に取り組む態度」の評価

1学期を振り返り、  
2学期の学級経営の充実へつなげましょう!

組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」  
全ての子供たちが安心して2学期を迎えるために

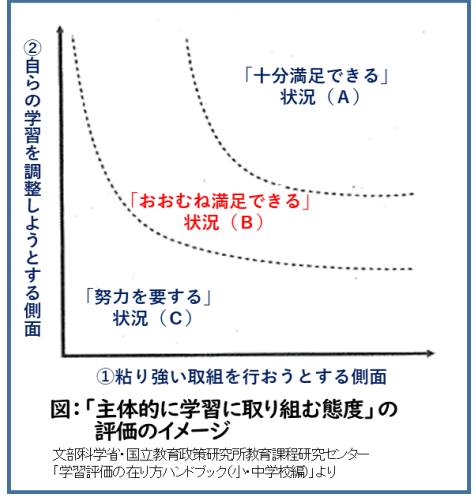
～円滑な幼保小連携・接続をめざして～  
授業参観・保育参観(保育体験)をお互いの学びの機会に

令和5年度各種研修会・協議会等スケジュール表  
(令和5年7月現在)

☆「主体的に学習に取り組む態度」は、**粘り強い取組を行おうとする側面と自らの学習を調整しようとする側面**との両面から評価することが求められます。

**【参考】お役立ち情報・関連バックナンバー**

- 「主体的に学習に取り組む態度」の評価例(令和3年6月号)
- 「主体的に学習に取り組む態度」の評価例(令和3年7月号)
- 「主体的に学習に取り組む態度」について(令和3年2月号)
- 評価に関する校内研修例について(令和2年10月号)



**学習指導要領に基づいた評価を行うために**



☞単元計画や評価規準等の詳細はこちらで確認ください。  
※小中学校ともに、全教科、こちらからダウンロードできます。

**単元全体を見通し、主体的に学習に取り組む態度を評価する場面を計画的に設定**

「『指導と評価の一体化』(国立教育政策研究所)から、「主体的に取り組む態度」をノートやワークシートの記述を活用して評価する例(中学校社会)の一部を抜粋しています。

**中学校・社会**

【単元名】世界平和と人類福祉の増大(参考資料:P92)  
【評価方法】ノート・ワークシート

《単元で用いるワークシート(例)》

**学びのあしあと**

1 はじめに ~見通しをもって単元の学習に臨もう~  
単元を貫く問い  
「世界平和と人類の福祉の増大のために、日本はどのような役割を果たしていべきだろうか。」

現時点での考え  
(これまでの学習から「世界平和と人類の福祉の増大」のために取り組むべき事にはどのようなことがあるだろうか、どうしたらよくなるだろうか。)

必要な情報とその情報の入手方法

2 単元の学習の途中で  
(単元を貫く問いについて考えたことや友人や先生の話ししたことや心に残ったものをメモしておく。)

3 単元の学習を終えて

この単元の自分自身の学習への取組 (横の上に○を圈こう。)				
よい	3	2	1	よくない

今後の学習や生活に生かしたいこと

これからも考え続けたいこと(それは、社会にとってどのような意義がある?)

☆「単元の学習を終えて」という記述欄を設定した実践事例より  
※ワークシートやノートなどに、単元の学習終了後も問い続けていきたいこと及びその社会的意義について記入させるよう構成する。

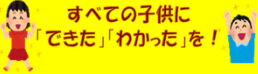
○「今後の学習や生活に生かしたいこと」  
【「おおむね満足できる」状況(B)と判断した例】

Aさんの意見をもとに自分の考えを修正したところ、修正前よりよいものができた。  
次の学習でも異なる考えを聞きながら自分の意見を考えなおすことを大切にしたい。

これからの社会の在り方を判断する際、持続可能性の点から考えることはとても大切だと分かった。  
これから、自分の子供たちの世代のことも考えて判断していきたい。



問いに対する取組や学習したことから、今後の学習や生活に生かそうとすることを見いだしているかを見取る。



# 1学期を振り返り、2学期の学級経営の充実へつなげましょう!

全ての子供たちが安心して学び、「わかった」「できた」と実感できる授業を実施するためにも、特別支援教育の視点をもつことはとても大切です。学期末は何かと忙しく、あっという間に夏休みになってしまいますが、夏休み前に1学期の取組を振り返り、2学期の学級経営の充実につなげましょう。

こんな様子ありませんか…?

指示していることが、すぐに伝わらないことが多くて…

子供たちが、なかなか集中して取り組めないのだけど…



教室環境や指示の出し方等、1学期の取組の様子について、**【人】【物】【環境】**の視点で、チェックしてみましょう。

## ～すべての児童生徒等の「わかった」「できた」を支えるチェックリスト～ 「基本のチェックポイント13」

	チェックポイント
【人】接し方	<input type="checkbox"/> 児童生徒等のよいところや強みをたくさん見つけましょう。 児童生徒等のやる気、指導・支援のヒントにつながります。
	<input type="checkbox"/> 担任が、一番身近な言語モデル、行動モデル、思考モデルになりましょう。 児童生徒等は担任の話す言葉やふらふらと真似ることが大好きです。
	<input type="checkbox"/> 「なぜ」の視点で、児童生徒等の言動の背景を探りましょう。 言動のみを評価せず、その背景(前後の出来事、発達段階、種がいの状態等)に目を向けます。
	<input type="checkbox"/> 具体的な言葉で、一つずつ指示を伝えましょう。 →「筆箱をもって、並んで図書室に行きましょう。」 →「今から図書室に行きます。」「筆箱を持ちましょう。」「廊下に出発順に並びましょう。」等
【物】指導・支援	<input type="checkbox"/> 具体的、写真、文字等で補い、わかりやすい指示や説明に心がけましょう。 例) 学習の流れを写真や絵で提示する。口頭指示を板書で伝える。
	<input type="checkbox"/> 1時間の授業のめあてと流れを明示しましょう。 児童生徒等にわかる言葉で、簡潔に示す配慮が必要です。
	<input type="checkbox"/> 活動の終わりはどこかを具体的に伝え、見通しをもって活動できるようにしましょう。 例) 「〇時〇分にはこの作業を終わります。」 「5枚プリントが終わったら、タブレットで振り返りをします。」等
	<input type="checkbox"/> 予定を提示するなど見通しをもたせ、自主性を高めましょう。 例) 月・週・1日の予定を示す。予定の変更時は口頭のみではなく、板書でも伝える。
	<input type="checkbox"/> スモールステップの課題を準備し、成功体験を積みませましょう。 「わかった」「できた」を実感させ、学びの確実な定着と意欲の向上を図ります。
【環境】教室環境	<input type="checkbox"/> 場の構造化を図り、片付けの場所や道具の置き場所をわかりやすく示しましょう。 例) ロッカーの整理の仕方を写真で示す。
	<input type="checkbox"/> ルールを明確にし、児童生徒等が自ら行動できるようにしましょう。 例) 学習中の正しい姿勢を写真や絵で示す。 「きくときのルール」「話すときのルール」等を確認できるように掲示する。
	<input type="checkbox"/> 視覚的な刺激(掲示物等)を整理し、集中しやすい環境を整えましょう。 例) 教室前面の掲示物を整理する。不要なものをカーテン等で覆う。
	<input type="checkbox"/> 聴覚的な刺激(教室内外の音等)が集中の妨げとならないよう配慮しましょう。 例) 指導時の声の大きさ、教室内の騒音、隣の教室の音等に配慮する。



### 【人】接し方

◆子供たちと信頼関係を築くための一つの方策は、学級のルールを明確にした上で適切にほめること、しかること!

**check**

「教室環境を整えましょう!」シリーズ第5弾  
「信頼関係を築く」  
令和3年9月  
お役立ち情報

◆よりよい「言語モデル」「行動モデル」「思考モデル」になりましょう!

**check**

「教室環境を整えましょう!」シリーズ第4弾  
「教師は最大の環境」  
令和3年7月  
お役立ち情報

### 【物】指導・支援

◆「いつ何があるのか」「どのような流れで進むのか」を明確にするようにしましょう!

**check**

「教室環境を整えましょう!」シリーズ第2弾  
「時間の構造化」  
令和2年9月  
お役立ち情報

### 【環境】教室環境

◆どこに何があるのか、どこにどう置くのかを明確にしましょう!

**check**

「教室環境を整えましょう!」シリーズ第1弾  
「場の構造化」  
令和2年6月  
お役立ち情報

◆「視覚情報」「聴覚情報」の量を調整しましょう!

**check**

「教室環境を整えましょう!」シリーズ第3弾  
「刺激量の調整」  
令和2年10月  
お役立ち情報

☆児童生徒等の実態に応じて配慮の有無や程度は異なります。チェックポイントを意識しながら、各教科等の指導や日々の関わりに留意しましょう。  
☆児童生徒理解を深めるためにも、日頃から教職員で実態や配慮についての情報共有に努めましょう。





# 組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」 全ての子どもたちが安心して2学期を迎えるために

西部教育局  
お役立ち情報  
令和5年7月号

学期末の終わり方や夏休みの過ごし方は、2学期のスタートに重要な意味をもちます。全ての子どもたちが安心して2学期を迎えるための取組について、学校全体で共通理解を図りましょう。

## 共通理解を図るテーマ例① 2学期につながる期末懇談の実施について

期末懇談の目的ごとにポイントを整理しましょう。  
例) A 保護者との信頼関係の構築 B 児童生徒理解を深める  
C 次なる一手の検討(作戦会議) D 組織的、継続的な支援についての共有

### A・Bのポイント

「先生は普段見てくれている」という実感を保護者に感じ取ってもらうために、  
子供の良さや様子を具体的に伝える。☞**担任以外からの「ほめ言葉」も効果的!**

担任が子供の様子を伝えるだけの懇談にならないよう、保護者から様々な情報(家庭や地域での様子等)を引き出しましょう。

- ◆家庭の様子や親子関係
- ◆保護者から見た友達関係
- ◆これまでの成育歴など

### Cのポイント

課題の克服方法や夏休みの生活プラン等について保護者と作戦会議をする。

規則正しい生活や苦手教科の克服等、充実した夏休みにするために、**夏休み前に保護者と次の一手を話し合う**ことが重要です。

休みの日は、一日中ゲームばかりしているんです…



ゲーム機には、「プレイ時間の設定」機能もあります。家で活用してみませんか?

### Dのポイント

気になる子供については、今後も継続的、組織的に支援することを伝える。

友達から嫌なことを言われているみたい…



他の先生とも協力して、今後も様子を見ていきます。**いつでもご相談ください。**

時々、学校に行きながらいないことがあるんです。



毎日声をかけてみます。**定期的に相談をさせてください。一緒に作戦を考えましょう。**

## 共通理解を図るテーマ例② 夏休み中の子供たちを見守る取組について

2学期のスタートに不安を抱きそうな子供の姿を想定してみましょう。

現在は出席して頑張っているが、前年度までに不登校経験があった。



頑張りすぎた1学期の反動モチベーションの低下  
2学期への不安  
基本的な生活習慣の乱れ



学業不振や友人とのトラブル等、精神的動揺が生じる出来事があった。

1学期や前年度までの実態から、夏休みの宿題を完了させることが困難だと予想される。

家庭で十分なサポートが得られにくく、昼夜逆転等、生活が乱れる可能性がある。

大きな行事に対してプレッシャーを感じやすい。

### 取組のポイント

電話連絡や家庭訪問を実施し、夏休み中の子供の状況を把握する。

「気にかけているよ」「話を聞くのを楽しみにしているよ」というメッセージが、子供に伝わる大切です。

2学期に向けて、何か気になることはないかな?

まだ終わっていない宿題を先生と一緒にしませんか? 来られる時間に、学校に来てみませんか?

1学期中に欠席が目立つ児童生徒については、**夏季休業前や夏季休業中に支援**することで、2学期始めの円滑なスタートにつながります。

- ～夏季休業前や夏季休業中の支援(例)～
- 児童生徒と一緒に夏季休業中の計画を立てる。
  - 夏季休業中の登校日を設定したり、部活動等の参加日を確認する。
  - 悩みごとや困ったことがあった時の相談方法について話し合う。



# 授業参観・保育参観（保育体験）をお互いの学びの機会に

今年度、久しぶりに1年生の授業参観を園向けに実施された学校があります。また、夏季休業中に校区の園での保育参観（保育体験）を実施する予定の学校もあるようです。幼保小の先生が、子供たちの様子を同時に見ることができる貴重な機会です。参観や体験で終わらず、子供の実際の姿をもとに、「対話」することで、園と小学校等の共通の課題やそれに対する解決策を考えたり、さらなる取り組みを生み出したりしましょう。

## 授業参観・保育参観（保育体験）

視点を示して  
行いましょう！

**対話**を大事にしましょう！

### ◆対話の流れの例◆

- ①遊び（学習）のなかで、どのような力が育とうとしているのか、「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）**」を手がかりに話し合う。

「静かに話が聞いているか」「姿勢よく座っているか」という学校への適応についての視点が多くなりがちです。

10の姿（※）を活用することで、より豊かな「学びの姿」が見えてきます。

（※幼児教育振興プログラムP93～94をご覧ください）

- ②育ちつつある姿が、**小学校（園）の教育のどのような場面につながるか**を考え、出し合う。

1年生が学びのスタートではありません。学びのつながりを具体的に話し合い、自園・自校のカリキュラムの改善につなげましょう。

- ③園や小学校等の**先生の関わりや環境の工夫**について大切にしていることを共有する。

先生の関わりや環境の工夫は発達段階に合わせたものです。「なぜそうするのか？」を問うことで新たな気づきが生まれます。また、一次支援など共通で大切にしたいことについても話し合ってみましょう。

## 授業改善・保育改善へ

園と小学校、それぞれの今後の実践に生かせるよう、互恵性のある合同協議の場となるよう、協議の事前準備やその方法を工夫して進めることが大切です。

【参照】幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引きの参考資料（初版）

もっと知りたい！幼保小接続

### 令和5年度 幼保小接続推進研修会 （オンライン）

日時：令和5年7月24日（月）  
午後1時30分から午後4時00分まで  
講師：大方 美香 学長  
（大阪総合保育大学）



【藤原厚子アドバイザー】【川上さつきアドバイザー】

私たちがお手伝いします!!  
ぜひ、お声かけください。  
鳥取県教育委員会事務局西部教育局  
TEL:0859-31-9773

令和5年度 各種研修会・協議会等スケジュール表(令和5年7月現在)

西部教育局

月	日	研修会名等	会場
7月	24日 (月)	幼保小接続推進研修会①	オンライン
	25日 (火)	第1回 西部地区教務主任等研修会(特別支援教育)	米子市福祉保健総合センターふれあいの里
	27日 (木)	西部地区公立学校講師研修会	ヴィルステヒえづ
8月	1日 (火)	西部地区特別支援教育充実研修会	ヴィルステヒえづ 及び各所属(オンライン)
	4日 (金)	学力向上研修会(小学校算数) 講師:文部科学省 笠井健一 教科調査官	中部会場
	7日 (月)	第1回 西部地区人権・同和教育振興会議学校教育研修会	米子市文化ホール
	8日 (火)	西部地区教務主任等研修会(学力向上)	ヴィルステヒえづ
	24日 (木)	幼児教育推進研究協議会(幼保小連携・接続)	中部会場
	28日 (月)	第1回 幼稚園教諭・保育教諭・保育士等の合同研修会	米子コンベンションセンター
9月	26日 (火)	第2回 中学校定期考査研修会(中学校英語) 講師:島根大学 猫田 英伸 准教授	倉吉体育文化会館
	28日 (木)	第2回 幼稚園教諭・保育教諭・保育士等の合同研修会	米子コンベンションセンター
10月	3日 (火)	第2回 中学校定期考査研修会(中学校数学) 講師:文部科学省 伊吹竜二 教科調査官	倉吉体育文化会館
	4日 (水)	学力向上研修会(中学校数学) 講師:文部科学省 伊吹竜二 教科調査官	米子市立美保中学校
	23日 (月)	中学校定期考査研修会(中学校国語) 講師:大妻女子大学 樺山 敏郎 教授	倉吉体育文化会館
11月	8日 (水)	第2回 西部地区人権・同和教育振興会議学校教育研修会	鳥取県立米子東高等学校
	13日 (月)	学力向上研修会(中学校国語) 講師:日本体育大学 杉本直美 教授	米子市立福米中学校
	20日 (月)	第3回 幼稚園教諭・保育教諭・保育士等の合同研修会	米子コンベンションセンター
	27日 (月)	子どもが伸びる授業づくりプロジェクト 小学校国語科授業研究会 講師:大妻女子大学 樺山 敏郎 教授	境港市立渡小学校
	30日 (木)	学力向上研修会(小学校算数) 講師:文部科学省 笠井健一 教科調査官	米子市立福米西小学校
12月	1日 (金)	学力向上研修会(小学校算数) 講師:文部科学省 笠井健一 教科調査官	米子市立加茂小学校
	上旬	第2回 西部地区教務主任等研修会(特別支援教育)	西部総合事務所 又は各所属(オンライン)
2月	5日 (月)	幼保小接続推進研修会② 兼幼保小接続推進リーダー育成事業 第2回連絡協議会	鳥取県立福祉人材研修センター
	9日 (金)	第2回 西部地区公立学校研究主任等研修会及び情報交換会	西部総合事務所 又は各所属(オンライン)
開催時期未定		西部地区特別支援教育主任研修会	西部総合事務所 又は各所属(オンライン)
		【西部教育局】小学校算数科における授業力向上研修会 講師:秋田県大館市教育委員会教育研究所 米澤貴子 所長	大山町立名和小学校
		【西部教育局】学力向上研修会(中学校英語) 講師:未定	西部地区

★鳥取県教育課程研究集会 ⇒ オンデマンド開催【視聴期間:8月1日(火)~8月31日(木)】